

令和4年度「教員研修」

第1部 社会性と情動の学習 SEL-8C

第2部 業務改善・チャレンジする力の育て方

2月16日（木）今年度の教員研修が実施されました。第一部は「人間関係能力を育てる取り組み」～社会性と情動の学習：SEL-8C～ について、福岡教育大学名誉教授の小泉令三先生を講師に、オンラインで開催しました。今まで家庭や地域社会との関係で育成された「社会性」が、子どもたちを取り巻く環境の変化から、意図的、計画的に学ぶことが求められるようになりました。この「社会性と情動の学習＝SEL」について、実際のホームルームや面談の場面で、どのように活用できるのかを、ワークショップ形式で研修しました。

第二部は「ワーク・ライフ・バランスの視点から、多忙化を解消し、時間を生み出すための業務改善」と「ファーストペンギン（勇気を持って一步を踏み出すチャレンジャー）に続く「セカンドペンギン」（ファーストペンギンをサポートしムーブメントを作り出すキーマン）の育て方について、教員研修が行われました。

「業務改善」についてはグループに分かれてのプレゼンが行われ、「Café のように目的を限定せずに使えるフリースペースの設置」など、斬新なアイデアが数多く発表されました。

最後に参加職員の投票により、3つの優秀アイデアが表彰されました。



第一部「社会性と情動の学習＝SEL - 8C」



第二部「時間を生み出すための業務改善」

「社会性と情動の学習＝SEL - 8C」研修に参加しての感想

学力も大切ではありますが、生きる力や生き抜く力を獲得することが社会的に身につけるべきと思っていたので大変参考になりました。

現在の生徒に足りていない能力や、そういった生徒が大人になったときに起こるであろう問題などが具体的に分かりやすかった。また、足りていない力を身につけさせるためにこのようなプログラムが効果的であること、プログラムを行なった後に実践する場があるという連動性が大切なのだと感じた。学校行事とHR活動などの連動性を見直していきたい。

本来家庭で身に付けるべき社会性（基本的な部分）を学校がワークショップ等で身に付けさせる時代になってきたことに驚きを感じた。しかし、SEL-8は社会性を身に付けさせる有効な手立てとして教員にとってはよい指導書になると感じた。